

定時制通信



宮城県古川工業高等学校

令和8年3月24日発行

予餞会

2月27日（金）、本校視聴覚室にて「卒業生授賞式」および「予餞会」が執り行われました。

授賞式では、4年間の学業や活動の成果を称え、各種団体をはじめETA、電友会（同窓会）、機友会（同窓会）から表彰状や記念品が贈られました。多くの生徒が晴れやかな表情で賞状を手にし、これまでの努力が形となった誇らしい時間となりました。

続く予餞会では、生徒会企画のイベントや、4年間の思い出を振り返るスライド上映が行われました。懐かしい映像に歓声が上がる場面もあり、会場は温かな熱気に包まれました。最後には在校生から卒業生へ記念品が贈られ、惜別の情とともに、新たな門出を祝う最後のはなむけとなりました。

卒業生の皆さんの、次なるステージでのさらなる飛躍を教職員一同心より願っています。



卒業式

3月1日（日）、本校体育館にて令和7年度卒業式が挙行されました。今年度は電気科3名、機械科4名、計7名の卒業生が、住み慣れた学び舎を巣立ちました。

式典は、高校生活最後を締めくくるにふさわしい厳粛な雰囲気の中で執り行われました。卒業生一人ひとりが緊張の面持ちながらも、呼名に対して力強く返事をする姿、そして堂々とした立ち振る舞いで証書を手にする姿からは、4年間で培った確かな成長と自信が感じられました。

少人数だからこそ築けた深い絆を胸に、明日からはそれぞれの選んだ道を歩み始めます。本校で学んだ技術と志を糧に、社会の第一線で活躍することを期待しています。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの未来が、光り輝くものであることを教職員一同切に願っています。



進路講話

3月17日(火)、キャリアコード代表・安住さち子様のご紹介により、スイミングインストラクターの三浦友也様、大崎市地域おこし協力隊の橋元文江様をお招きし、進路講話を実施しました。

講師のお二人は、自身の性格や挫折の経験を率直に語られ、不安を抱える生徒たちへ「失敗から学ぶ大切さ」を伝えてくださいました。講話では、①失敗でしか得られない気づきがある、②好きなことを深掘りする、③「できそうなこと」から挑戦する、④それら全ての経験が人生の宝物になる、という4つの力強いメッセージをいただきました。

生徒からは「失敗を恐れず勇気を持って行動したい」「仕事選びだけでなく、自分自身のためになる宝物を見つけたい」といった感想が寄せられ、自身の将来を前向きに捉える貴重な時間となりました。



学年進路活動

3月18日(水)、全学年でそれぞれのステージに合わせた進路ガイダンスを行いました。

1 学年は「就職について考える」をテーマに、将来の働く姿を具体的にイメージするワークを実施。2 学年では「厚生労働省編 一般職業適性検査」を行い、自己の適性や能力を客観的に把握しました。また、最高学年を目前に控えた3 学年は、求人票管理システム「HANDY 進路指導室」の使用方法を習得。来年度のスケジュール確認とともに、卒業生の進路概況を分析した具体的な対策についても学びました。

各学年とも専門講師の指導のもと、自身のキャリアと真剣に向き合う貴重な機会となりました。この日に得た気づきを糧に、希望進路の実現に向けて一歩ずつ準備を進めていきましょう。

